



### ◆ 歴代城主の家紋



初代 寺沢氏 陣幕



二代 大久保氏 大久保康



三代 松平氏 篇(つた)



四代 土井氏 水車



五代 水野氏 沢瀉(おもだか)



六代 小笠原氏(三階菱)



**観天守料**

- 一般: 500円(400円)
- 小中学生: 250円(200円)

※( )内は20名様以上の団体料金です。

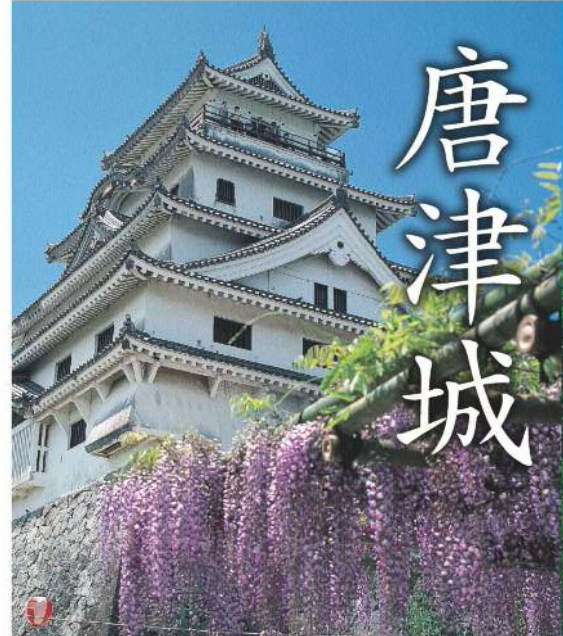
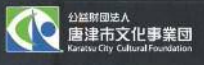
◎天守閣の設備が充実

- 全館Wi-Fi環境の整備  
無料Wi-Fiスポットを整備し、気軽にインターネットを利用できます。
- トイレの整備  
新たにトイレと授乳室を設置。多目的トイレは、乳幼児の対応やオストメイトなど装備が充実しています。
- 耐震機能の充実  
耐震壁・鉄骨ブレースの補強により天守閣の耐震性能が向上しています。
- 空調設備の導入  
1階から3階まで空調設備を導入し、展示資料の保存環境が改善され、入館者も快適に場内を観覧できます。

【お問い合わせ】  
TEL 0955-72-5697  
FAX 0955-72-5716  
Email info-karatsujoh@karatsu-bunka.or.jp

【駐車場】東城内駐車場(有料)をご利用ください。  
【開館時間】午前9時から午後5時まで  
※入館は午後4時40分まで  
※季節により時間延長あり

〒847-0016 佐賀県唐津市東城内8番1号  
【休 日】12月29日から12月31日まで



# 唐津城

KARATSU CASTLE SINCE 1608  
가라쓰 성 1608 축성



唐津城記念スタンプ  
Column for Commemorative Stamp of Castle  
가라쓰 성 인장기념 스탬프



### ◆ 唐津城の歴史

- 1593年(文禄2年) 波多氏改易
- 1594年(文禄3年) 寺沢氏唐津を領す
- 1600年(慶長5年) 天草郡が唐津領となる(十二万三千石)
- 1608年(慶長13年) 唐津城完成
- 1647年(正保4年) 寺沢氏改易 幕府直轄領となる
- 1649年(慶安2年) 大久保氏入部(八万三千石)
- 1678年(延宝6年) 松平氏入部(七万三千石)
- 1691年(元禄4年) 土井氏入部(七万石)
- 1762年(宝暦12年) 水野氏入部(六万石)
- 1771年(明和8年) 虹の松原一揆
- 1817年(文化14年) 小笠原氏入部(六万石)
- 1862年(文久2年) 小笠原長行幕府老中格となる
- 1869年(明治2年) 版籍奉還
- 1871年(明治4年) 廃藩置県
- 1877年(明治10年) 唐津城址公園となる
- 1966年(昭和41年) 唐津城天守閣 落成
- 2017年(平成29年) 唐津城天守閣リニューアルオープン

5階 展望フロア



5F Observation gallery

### 絶景のパノラマビュー

人気の展望所は、海に面した絶景のポイント! スマートフォンを利用したARパノラマビューは、展望所からの景観にスマートフォンを向けると観光名所の案内や唐津城からの所要時間、解説動画が流れます。



### 4階 交流・休憩フロア

唐津の魅力を紹介する市民ギャラリーや休憩・交流スペースを設けた城内でくつろげる空間です。



3階 唐津焼フロア



3F Karatsuware

### 唐津焼

16世紀末から焼かれ始めた唐津焼は、形や色合いが多様で、素朴な風情と表情豊かな味わいが多いのが茶人にも愛されました。



▲唐津藩の産業を絵図で紹介  
「肥前国産物図考」佐賀県立博物館蔵

▼鉄絵蓮文八角皿



2階 唐津の歴史フロア



2F History

### 唐津史

中世から近世の唐津の歴史を貴重な資料とともに紹介しています。



▼朱漆塗紅糸威仏二枚胴具足



1階 観光案内・体験フロア



1F Information

### 魅力ある唐津をご紹介します

デジタルサイネージを活用し、唐津城を拠点とした唐津市内の魅力ある観光ルートを紹介し、唐津城以外の観光文化施設や食事処、おみやげ処へ誘います。体験コーナーでは、豊田秀吉の兜や小笠原長行の兜等の衣装を着用し、デジタル記念撮影コーナーで撮影することができます。



### 初代藩主の偉業 「虹の松原」

初代藩主の寺沢広高が慶長年間から植林したもので、約100万本の黒松の群生は潮風を防ぎ、この地に豊かな農地をもたらすことになった。



唐津城は豊田秀吉の家臣、寺沢志摩守広高が慶長7年(1602年)から7か年の歳月を費やして完成しました。築城には名護屋城の解体資材を用いたと伝えられ、城を要した砂浜が翼を拡げた鶴のようにも見える事から、別名「舞鶴城」とも呼ばれています。その城主には、寺沢、大久保、松平、土井、水野、小笠原の諸氏が任ぜられ、明治10年に本丸跡は舞鶴公園となりました。現在の城郭は天守台跡に慶長様式を取り入れ、文化観光施設として昭和41年10月に完成しました。

The original construction of Karatsu Castle began in 1602 and took seven years to complete. It was built by *Terasawa Shimanokami Hiroataka*, a former retainer of *Toyotomi Hideyoshi*. Some of the construction materials are said to have come from Nagoya Castle, which was dismantled when the *Tokugawa* clan took power. Winged by swooping beaches, the fortress became popularly known as *Maizuru-Jo* ("Dancing Crane Castle") because of a fancied resemblance to a bird. Following the *Terasawa* clan, the *Okubo* clan and later the *Matsudaira*, *Doi*, *Mizuno*, and *Ogasawara* clans became lords of the castle. In 1877, the castle precincts were opened as Maizuru Park. The present-day castle keep, built in the style of the early 17th century, was raised on foundations laid in the feudal period. It was completed in October 1966 as a cultural and sightseeing facility.

가라쓰 성은 도요토미 히데오시의 가신 데라사와 시라노카미 히로타카가 1602년부터 7년의 세월을 들여 완성하였다. 축성에는 나고야(名古屋) 성의 해체 자재를 사용했다고 전해지며, 성을 사북으로 하여 무척삼치형 팔치전 모래 사장이 날개를 펼친 학처럼 보인다고 하여 별명 '무학성'이라고도 불리고 있다. 그 성주에는 데라사와, 오쿠보, 마쓰다이라, 도이, 미즈노, 오가사와라 등의 재세가 임명되었으며, 1877년에 본성의 터는 마이즈루 공원이 되었다. 현재의 성곽은 연슈다이(본성의 중심 건물의 가장 높은 일대) 터에 케이조 양식으로 만든 문화 관광 시설로, 1966년 10월에 완성되었다.

### ▲舞鶴公園案内図

- ①天守閣 / ②唐津城址碑 / ③本丸(上段広場) / ④化粧櫓 / ⑤大手門 / ⑥西門 / ⑦北門 / ⑧二ノ曲輪(中段広場) / ⑨天然記念物紫フジ / ⑩井戸 / ⑪神社 / ⑫斎藤茂吉歌碑 / ⑬多宝塔 / ⑭エレベーター乗降口